

「安全を持続的に確保するための今後の河川管理のあり方について
(平成25年4月、社会資本審議会答申)」

河川の維持管理の現状と課題

- 河川管理施設等の老朽化の進展、維持管理に関する社会的な関心の高まりを背景に、平成25年、河川法の一部改正により、河川管理施設等を適切に維持・修繕することが義務化された。
- 一方では、河川の維持管理は、基準化が進んでも依然として現場での経験に基づいた適切な判断を必要とするが、豊富な経験を有する**技術者の確保が困難**になりつつある。
- 客観性のある資格制度を創設し**、河川管理の特質を理解し**豊富な経験を有する官民の技術者の知見を活用**して、技術を継承し、管理水準を維持する仕組みを構築する必要がある。

河川維持管理技術者資格制度の創設

- 平成27年2月に一般財団法人河川技術者教育振興機構設立 (<http://www.ree.or.jp>)
- 平成27年度から、「河川維持管理技術者」、「河川点検士」資格試験開始
- 平成30年2月「国土交通省登録資格」として登録

	河川維持管理技術者	河川点検士
期待される社会的役割	地域の河川に熟知し、 維持管理についての的確な状態の把握と対応の提案等を行う ことで維持管理の実務や地域の安心に貢献する	マニュアル等を熟知し 点検を確実に実施して変状を把握 することで維持管理の実務に貢献する
技術者像	河川の維持管理に求められる 応用的技術、経験や、地域の河川に関する知識、経験を有する 技術者	河川の維持管理に関する 基本的技術・経験を有する 技術者
求められるスキル	河川の状態把握と分析、対応案の検討技術 地域の河川の特長や改修・災害等の特性・履歴に関する十分な理解 河川管理上の 判断に有益、的確な提案 とそれに必要となるコミュニケーションを行う能力	点検要領等のマニュアル類に即して的確に河川の維持管理に必要な 点検を実施できる技術

河川技術者資格登録者勤務地都道府県別状況

2018年4月25日現在

No	都道府県名	河川 点検士	河川維持管理 技術者
1	北海道	572	37
2	青森県	39	1
3	岩手県	70	7
4	宮城県	213	26
5	秋田県	59	3
6	山形県	81	0
7	福島県	58	0
8	茨城県	51	1
9	栃木県	26	0
10	群馬県	16	1
11	埼玉県	92	11
12	千葉県	35	0
13	東京都	338	47
14	神奈川県	22	1
15	新潟県	226	18
16	富山県	93	3

No	都道府県名	河川 点検士	河川維持管理 技術者
17	石川県	80	2
18	福井県	28	1
19	山梨県	15	1
20	長野県	193	11
21	岐阜県	178	10
22	静岡県	154	10
23	愛知県	143	24
24	三重県	58	4
25	滋賀県	20	2
26	京都府	58	1
27	大阪府	314	45
28	兵庫県	77	3
29	奈良県	14	1
30	和歌山県	10	0
31	鳥取県	36	0
32	島根県	108	2

No	都道府県名	河川 点検士	河川維持管理 技術者
33	岡山県	63	3
34	広島県	128	10
35	山口県	26	0
36	徳島県	113	10
37	香川県	50	3
38	愛媛県	83	4
39	高知県	91	3
40	福岡県	317	34
41	佐賀県	92	2
42	長崎県	88	3
43	熊本県	103	3
44	大分県	105	7
45	宮崎県	132	1
46	鹿児島県	191	4
47	沖縄県	1	0
合計		5060	360